

私だけの 輝く星のような アートに出会いたい!

7つの作品を
ピックアップ!

~ひとつの作品との出会いが、あなたの大切な宝物に~



大阪 雪中虎図

ふわりと跳ぶ虎の微笑みの謎

ふわふわと柔らかい筆致で描かれ、雪の中で、天を見つめて今にも飛ぼうとする一匹の虎。これは、もちろん現実の虎ではありません。「富嶽三十六景」をはじめ、特に富士山の絵で知られる北斎は、晩年にかけて、虎や龍、鳳凰など、非日常の世界をも木版画ではなく、肉筆画で描いています。亡くなる直前に「天があと5年命をくれたなら、真正の絵師になれたらう」という言葉を残したという北斎。そんな彼が描いたこの想像の虎は、うっとり微笑むような表情を浮かべています。死を前にしてなお、理想を追求し続けた北斎はもっともっと羽ばたきたい、そんなふう願っていたのかも知れません。そんな心を映し出すような一枚です。

この秋、京阪神で催される、きら星のような展覧会の数々。そのなかで、ぜひ観てほしい作品をアートライター maemae ちゃんがピックアップ! あなただけのきらめく星を見つけに、さあ、美術館へ!

案内人 maemaeちゃん プロフィール
美大卒業後、制作会社、出版社勤務を経てフリーランスライターに。テーマはアート、食、人、旅etc. 詳しくはブログをチェック!
http://www.arthajime.com/

OSAKA

1 あべのハルカス美術館 「北斎-富士を超えて-」

【会期】2017/10/6(金)~11/19(日)
【休館日】10/10(火)・10/16(月)・10/23(月)・10/30(月)・10/31(火)
【開館時間】火~金/10:00~20:00 月・土・日・祝/10:00~18:00 (入館は閉館の30分前まで)
【住所】大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階
【お問い合わせ】06-4399-9050

大阪 光ふる街 カラフルで透明な絹谷ワールド

アフレスコ画(壁画の古典技法、フレスコ画ともいう)の第一人者、絹谷幸二氏は、奈良県生まれ。幼少の頃から歴史的環境に親しんできました。東京芸術大学の大学院修了後、イタリア・ヴェネツィアで、アフレスコ画の技法を習得、研究しました。初期の代表作「光ふる街」は、アフレスコによる風景画で、ヨーロッパの古代建築と煉瓦の街並みが、光の帯に包まれたように、透明感に溢れて、鮮やかに描かれています。カラフルな光が降り注ぐような絵は、若き青年だった氏の瑞々しい息吹を伝える大作。今回、壁面からストラップ(剥ぎ取り)され、キャンバスに移し替えることになり、なんと実物を鑑賞できます。貴重なこの機会をお見逃しなく!



2 絹谷幸二 天空美術館 「アフレスコ展」

【会期】2017/8/16(水)~11/27(月) 【休館日】火曜日(ただし、祝日の場合は開館し、翌平日が休館) 【開館時間】月・水・木・日/10:00~18:00 金・土・祝前日/10:00~20:00 (入館は閉館の30分前まで) 【住所】大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビル タワーウエスト27階 【お問い合わせ】06-6440-3760

大阪 ビッグ・セイフ作戦

映画を観るようなライブ感!

孤高の超A級スナイパー、ゴルゴ13。本名、国籍、生年月日……そのすべてが不詳。鍛え抜かれた肉体、揺るがぬクールな眼差し、鉄の意志を感じさせる太い眉。本当にこんな人があるのでは?と思うほどのリアリティ。スナイパーという職種と非情な任務があくまでカッコ良いゴルゴ13の魅力は、一言ではとても語れません。この連載が50年も続いているのは、完全分業制によってプロ集団が制作現場を支えているからなのです。さて、「ビッグ・セイフ作戦」は、連載50年の記念すべき初登場シーンで、その原画が展示されます。何故、色違いの3枚から始めるのか。なぜブリーフ姿なのか。謎は満載ですが、真相は展覧会で解き明かされるので、乞うご期待!



神戸 スケートをする人たちと鳥囀のある冬景色

スリリングな”楽し怖〜い”絵

あの「バベルの塔」で有名なピーテル・ブリューゲル家は、初代から五代まで全てが画家。初代の絵は特に評価が高く、子孫たちは積極的に初代の絵のコピーを描き、とくに、二世はコピーを大量生産したことで知られています。楽しげにスケートをする人々と雪深い冬景色は、一見、のどかな雰囲気ですが、画面手前には水汲み用の穴が見え、今にも人が落ちそうな予感が…。また木の上の鳥の近くには罠があって、この鳥も餌食になってしまうかもしれません。この絵は、子孫の手でコピーされた数が一番多いといわれていますが、人気の秘密は、人のすぐ近くに潜む恐怖など、人間の怖いもの見たさや好奇心をくすぐるからかもしれません。

KOBE

4 兵庫県立美術館 「大エルミタージュ美術館展」 オールドマスター 西洋絵画の巨匠たち

【会期】2017/10/3(火)~2018/1/14(日)
【休館日】月曜日(ただし10/9(月・祝)、1/8(月・祝)は開館、10/10(火)、1/9(火)は休館、年末年始(12/31(日)、1/1(月・祝))
【開館時間】火~木・日/10:00~18:00 金・土/10:00~20:00 (ただし12/29[金]、30日[土]は18:00まで、入館は閉館30分前まで)
【住所】神戸市中央区臨浜海岸通1-1-1IHAT神戸内 【お問い合わせ】078-262-0901



ピーテル・ブリューゲル(2世)『スケートをする人たちと鳥囀のある冬景色』1615-1620年頃 ©The State Hermitage Museum, St Petersburg. 2017-18

神戸 郵便配達人ジョゼフ・ルーラン

優しい眼差しに、思わずほっ

1888年、南仏アルルに移り住んだファン・ゴッホは、見知らぬ土地での暮らしに苦労していました。そんな彼に手を差し伸べてくれたのが、ジョゼフ・ルーランでした。彼と妻のオーグスティヌや三人の子供達もゴッホの絵のモデルとなり、この一家の肖像画は、20点以上も残されています。この一枚は、有名な「耳切り事件」の前に描かれたものですが、事件後、「狂気」と呼ばれたゴッホを、ジョゼフは変わらず支え続けました。穏やかな眼差しでこちらを見つめるジョゼフの肖像画には、狂気と不運のうちに亡くなったゴッホとの温かな交流と信頼があったことを伺わせます。ゴッホのアトリエで、二人は一体、どんな会話を楽しんだのか、想像が膨らみます。



ファン・ゴッホ「郵便配達人ジョゼフ・ルーラン」1888年
Gift of Robert Treat Paint 2nd, 3rd, 1892
Photograph © Museum of Fine Art, Boston



国定 桜図壁貼付
長谷川久蔵書
京都・智積院
＜展示期間＞10月24日~11月12日＞

豊臣秀吉に依頼されて、長谷川等伯の息子・久蔵が描いた、桜が一面に咲き誇る絢爛豪華な世界。じつは、この障壁画は、久蔵の画壇デビュー作であると同時に遺作となってしまう作品なのです。華やかな画壇デビューを飾った久蔵は、この絵を描いてほどなく、わずか26歳でこの世を去ってしまいます。父・等伯の悲しみはいかほどだったでしょう。久蔵の死後、等伯が描いたとされるのが「松林図屏風」で、時を越えた親子の再会をします。今回は、国宝指定の美術工芸品のうち、約4分の1にあたる約210件の国宝を大きく4期に分けて、奇跡の一挙公開! 等伯・久蔵親子の大作は、期間限定(10月31日~11月12日)の展示です。

6 京都国立博物館 開館120周年記念 特別展覧会「国宝」

【会期】2017/10/3(火)~11/26(日) ※会期中、展示替を行います。
【休館日】月曜日(ただし10/9(月)は開館、10/10(火)休館)
【開館時間】火~木・日/9:30~18:00 金・土/9:30~20:00 (入館は閉館の30分前まで)
【住所】京都市東山区茶屋町527
【お問い合わせ】075-525-2473 (テレホンサービス)

京都 「スラヴ叙事詩」 初展覧会ポスタービジュアル

描かれている少女はだれ?

今年、東京で開催された「ミュシャ展」の入場者数はなんと65万人! 日本人にもこんなに愛される画家ミュシャ。この作品は、晩年の大作である連作「スラヴ叙事詩」の展覧会が、1928年にチェコスロヴァキアで開催された際の広告ポスターのメインビジュアルです。ハーブを弾く少女は、ミュシャの娘、ヤロスラヴァをモデルにしているのだとか。父の深い愛を感じさせます。また背景のスラヴの神の3つの頭は、過去、現在、未来を見えています。ミュシャ自身の人生、そして祖国への思いが詰まった作品です。本展は、ミュシャの生涯を彩った運命の女性たちに焦点をあて、ミュシャの作品約150点を公開します。

KYOTO

7 美術館「えき」KYOTO 「ミュシャ展~運命の女たち~」

【会期】2017/10/14(土)~11/26(日)
【休館日】ジェイアール京都伊勢丹に準ずる
【開館時間】10:00~20:00 (入館は閉館の30分前まで)
【住所】京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町 ジェイアール京都伊勢丹7階隣接
【お問い合わせ】075-352-1111(大代表)

3 大阪文化館・天保山 連載50周年記念特別展 「さいとう・たかを ゴルゴ13」 用件を聞こうか……

【会期】2017/10/6(金)~11/27(月)
【休館日】会期中無休
【開館時間】月~金/12:00~20:00 土・日・祝/10:00~18:00 (入場は閉館の30分前まで)
【住所】大阪市港区海岸通1-5-10
【お問い合わせ】06-6366-1848

各展覧会の招待券(各5組10名様)を抽選でプレゼント! 詳しくは次ページ!